

日々研鑽

会員 佐竹 亮



はじめに

広島での司法修習を終えて、大学時代から住み始めた東京で弁護士としてのスタートをきった。弁護士として登録して以来、刑事事件、一般民事事件、労働事件と様々な事件に取り組んでいるが、次々生じる新しい出来事に日々懸命に奮闘している。

初めての事件

弁護士になって初めての事件は、ネット書き込みによる名誉毀損に基づく損害賠償請求が問題となった事案であった。ネット上で個人の名誉を傷つける書き込みを行ってしまった加害者側の代理人として、相手方からの請求に対して対応を求められた。

依頼者との相談、方針の検討から相手方との交渉まで全てが初めての中で、右往左往し、苦闘しながら業務に取り組んだ。共同受任している先輩弁護士の仕事のやり方を実際に見て、適宜アドバイスをいただき指導を受けながら、無事に事件を終えることができた。私が主として行ったことは、文献、判例の調査及び示談書の作成等であった。直接相手方代理人と交渉を行った先輩弁護士に比べると、私自身の力は、あまりにも微々たるものであったが、最後和解で終わった後に、依頼者から「ありがとうございました」と言われ、とても嬉しくなった。

研究部での勉強

最初の事件においてネット上の書き込みが問題と

なったことから、ネットにおける法律問題に興味を持った。そこで、当会の研究部の1つであるインターネット法律研究部に入学し、3月から部会に参加している。ネット書き込みの削除、プロバイダの開示請求やサイバー犯罪等、ネットの世界が広がるにつれ、それに付随して生じる法律問題も多様化している。日々新しい技術が生まれ、変化し続けるネットで生じる法律問題についても対応できるよう研鑽を積んでいきたいと思う。

弁護士の業務とこれから

日々の業務内容としては刑事事件が比較的多く、既に10件を超える刑事事件を担当した。

弁護士として仕事をしながら、新米として、まだまだ戸惑うことが多い。そんな中、事務所の先輩や同期の助言を受けながら、目の前の事件に必死に取り組んでいるつもりである。事務所外でも、当会のクラス別研修や法律相談研修等、若手支援策を最大限利用させてもらっており、当会の諸先輩方にご指導していただくことも多く、大変ありがたいと感じている。

弁護士としての仕事は、その人の人生に大きく関わる仕事であると思う。依頼者の人生に関わっているという意識を持ち、1人1人の声に真摯に耳を傾けながら、誠実かつ謙虚に業務に取り組んでいきたい。法律の専門家として求められる能力の研鑽に日々努めながら、人に優しく温かい弁護士でありたいと思う。